

# サア・選挙だ！“原 和美” 勝利が

## 政治を変える！

### 衆参連続闘争で革命的大転換を。

#### 民主党中心の政権誕生か？

最近の主要都市における首長選や東京都議会選挙で民主党が圧勝している。これまでの自公民などとの政党の枠組みを超えたところで政治の変革を求める声が一気に噴出ししていると思える。

こうした中、衆議院解散を前にして新聞各紙が 7/18.19 に実施した世論調査結果を発表した。朝日によれば自民支持はこれまでの最低で 20%、対して民主支持は 31%とある。さらに比例区の投票先は自民に、が 19%で民主に、が 42%という。また、共同通信の調査によれば、現状での政党支持は定かでない（設問の仕方）が比例区への投票は自民に、が 15%で民主に、が 36%だという。

他の調査でもほぼ同様の結果がでている。7/21 に解散が決まって投票日まで 40 日ある。自民党はあらゆる手段を講じて民主攻撃を徹底して行うだろう。鍵はマスコミがどのように報道するかにもよるがこの流れを逆流させるのは不可能に近いだろう。

したがって、9月には民主党中心の政権が誕生するという認識の基に当面の政治戦略を構築しなければならない。

#### 民主党の主要（基本的）な内外政策 自民党と差異なし。

- 1、内政においては、規制緩和、民営化、大企業優遇・労働者切り、自己責任論などを変えられるか！ そうした基本的な選択が見えない中で 扶養控除・配偶者控除廃止、 公務員人件費削減、 議員定数削減、 数年後の消費税大幅アップなどが検討されている。
- 2、外交面では国連中心主義と言いながらも日米基軸の世界戦略が基本である。その基での 海賊退治の名の下にソマリア（海外）への派兵、 インド洋での給油継続、 北朝鮮への制裁強化や「船舶臨検法」の制定、 「非核三原則」の見直し、 憲法改悪への潜在的方針。と認識しなければならない。

## 、我々の選挙闘争方針

### 1、選挙情勢

前述のような政治の現実を認識するなら自&民どちらが中心の政治であっても本質的に大きな差がないと言わなければならない。言い換えるなら民主党中心の政権が誕生しても弱肉強食の新自由主義路線が大きく転換される状況にないということだ。

### 2、憲法を世界に生かす 「第三の政治勢力」 結集の現状

自民でもない、民主でもない(21世紀の人間社会の在りようを追求する日本政治)第三の政治勢を創造したいと努力する者にとって今後の国政選挙は に、私たちがめざす社会像(人間社会と日本の政治の在り方)を明確にすること。 にそのための基本的な政治理念や哲学(人民が主権者=民主主義)を旗幟鮮明にし、政策の柱と象徴的な具体策を提示する。 にそれを実現させる政治プロセスを明確に示す。 に、現状での必要かつ不可欠な選択は、このような政策の合意に基づき共同候補の擁立や選挙協力を実現することであろう。

このことは、これまで政党との関わりを躊躇?してきた市民団体や労働組合も避けて通れない課題であるとの認識が迫られている。私たちはいまこそ、前述の闘争理念に基づき、貧者と労働者、高齢者等の怒りを爆発させた革命的大闘争に発展させることを戦略目標にしなければならない。

しかしながら、共同闘争に対する他党の状況は、共産党はもとより社民党もこれに対応しようとはしない。このままでは来年の参議院選挙も革新諸政党や団体による共同候補はおろか選挙共闘も困難である。

### 3、共同の戦いで主体の強化を!

このような状況下にあっては、私達の戦いの目標は 「主体の強化に総力を挙げる」 ことではなければならない。

### 4、我々はどう闘うか 当面する衆議院選挙での最大目標と主要政策。

#### (1) 当面の最大目標

原 和美(兵庫1区)の勝利めざして総力を結集する。同時に自公政権の打倒をめざし護憲の候補を支援する。(自・民の一騎打ちなどの場合)個々の判断での民主支援も考慮する。

#### (2) 衆院選挙での主要政策 “人らしく生きられる”。

##### 1)人らしく生きられる政治に -富を再配分する。そのために「社会構造を大転換する。」

大企業優遇から中小企業や農・漁業など重視へ。大都市集中から地方分散型に。

派遣禁止、最賃大幅引き上げ、社会保障の拡充。子育てや教育は「公の責任」で。

##### 2) 憲法改悪を許さず、日米安保条約の解消と東北アジアの非核化を進める。

米軍基地の縮小、撤去を推進する。自衛隊の海外派兵は認めない。日朝国交正

常化を促進し平和なアジアを創造する。

## 、'10年参議院選挙とその後の国政選挙。

、戦略目標は、自・民と質的な基本政策の違いを鮮明に掲げ、野党共同候補や野党共闘を追求し、いわゆる“憲法を生かす第三の政治勢力を創る”ことを基本方針にする。

(共、社との競いあいも決意する)

、選挙の主体は「9条ネット」等の形態(最大限の共同闘争)とし、基本政策の合意を追求する。

、掲げる基本政策は、21世紀の日本像を鮮明に、「外交政策の転換」と「構造改革政策の転換」とする。アメリカと一線を画し、アジア重視に。(安保、基地、自衛隊等の解消、縮小、撤去など)。同時に、大企業優先政治を転換し、人間と自治の復権、暮らし優先の政治に大転換する。

## 、政策の柱と具体策、

、平和外交の推進 イ、日朝国交正常化の促進。ロ、自衛隊の派兵恒久法反対。ハ、ソマリアやアフガン等 海外への派兵反対。二、日米安保条約の解消、米軍基地の縮小、撤去。

、規制緩和と構造改革路線の転換、格差是正と人権尊重 「イ、後期高齢者医療制度の廃止。

ロ、消費税率引き上げ反対。 ハ、派遣法廃止、パート労働者等の正規雇用化。二、最低賃金の大幅引き上げ」

、環境改善に努める 「イ、自然エネルギー - を活用し原発の削減、廃止をめざす。ロ、都市部のみどりを拡充し排気ガス規制を強化する」

、地方分権を推進し大都市集中を転換する 「イ、地方の権限を強化し、自治体の併合や道州制の導入に反対。ロ、農・山・漁村の活性化に努め、食糧の自給率を大幅にアップ(当面60%) する」

、中選挙区制と全国比例代表制の併用制とする(少数者の意見を生かす)。

## 、選挙を戦う組織づくり 大小を問わずできるところから！

1、上記「戦略目標」と「政策の柱と具体策」に賛同する同志を結集し“新しい「政治確認団体」を立ち上げる”。 「9条ネット」を改定し、例えば「世直し・9プラス25」、「世直し・人らしく」などとして政治の変革を求める同憂の士に参加を呼びかける。

2、全国遊説を展開する。(街頭や駅宣とともに屋内演説会)

キャラバン隊を編成し、北は北海道から南は九州・沖縄まで主要な都市で街宣し賛同者を募る。

3、インターネットを使い全国に発信する。

ホームページやブログを開設し情報交換を行う。 ニュースを発行し、ファックス、メール、郵送など広く情報を提供する。

4、活動資金づくり

呼びかけ人は1口：10000円以上。 賛同者1口1000円(原則、会員証を発行する)。

資金づくりの集会や講演会、あるいはパーティ開催。

5、候補者は呼びかけ人や賛同者から選出する。

皆さん！ 創意工夫して日本社会を変えようではありませんか！

人間のいのちとくらしと平和を創造するために。

以上は私個人の提案です。 お手紙やFaxなどでご意見をいただければ幸いです。

2,009年7月24日

新社会党：江原 栄昭  
東京都中野区南台 2-32-1  
電話：03-3381-7656  
Fax：03-3383-8535